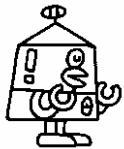


メダカのはたまごは、なん日ぐらいでふ化するの



たまごがふ化する日数は、水温によってちがひ、低温(15)
だと約1か月、25~30 だと約10日ぐらいたよ。

メダカのはたまごのふ化までの日数は、水温が高くなるほど短い

メダカのはたまごがふ化するまでの日数は、水温によって、次のようにちがいます。
たとえば、15 なら約30日、18 なら約20日、20 なら約17日、25~30 では約10日ぐらいでふ化します。

20~25 ぐらゐの水温でメダカのはふ化を観察すると、3~4日後にはたまごの中に頭の形が見えるようになり、約1週間後には、大きな目や動いている心臓しんぞうなどもわかるようになります。そして、2週間後ぐらゐまでには、子魚が生まれてきます。

このたまごの中で起こる大変化は、あるていど温度が高いほうが早く進むので、水温が高いほど、ふ化までの日数も早くなるのです。でも、メダカがいちばん元気な水温は20 前後ですから、あまり水温を高くするのもよくないのです。

たまごの中の大変化は、受精じゅせいしたときから始まる

メダカがたまごを産むのは、水温が18 以上になった4~9月ごろです。たまごを産むときはオスが手助けをし、メスが産んだたまごにオスが精子せいしをかけ、精子とたまごが結びつく(受精という)とふ化します。

精子をかけられなかったたまごは、変化が起きず、やがてカビがはえたりくさったりします。

受精卵じゅせいらんは、中ですぐ大変化が起こってきます。水草に産みつけられたたまごを取り出し、少し水を入れたペトリ皿などに入れて、かいぼうけんび鏡で数時間おきに観察してみると、どんどん変化しているのがわかります。

